

▶ 「地域住民が合併を後押ししよう」と講演する板倉氏



▶ 首都圏の国際航空需要への対応等について講演する飯田氏



市町村合併を考えよう

合併講演会

2月15日、神崎ふれあいプラザ視聴覚室で神崎町の未来を考える会（会長野口喜平）主催による市町村合併講演会が開催され、150名が参加しました。

千葉県総務部市町村課市町村合併担当課長板倉正典氏を講師に迎え、『「千葉県市町村合併推進構想」～分権型社会の実現のために～』と題して約60分にわたって講演。板倉氏は、分権型社会への転換、成田市を中心とした合併の組合せ、空港を核とした地域振興等を分かりやすく説明。住民一人ひとりが地域の10年後、20年後を見据えた魅力的な地域づくりを考えようと言われました。また、本町出身の千葉県総合企画部長飯田耕一氏より、成田空港の現状と課題をテーマに、空港機能の拡充、交通網の整備、周辺自治体をさらに魅力的にすることが重要であると話され、有意義な講演会となりました。

楽しい人形劇の世界に夢中！

TEPCOおはなしきゃらばん

東京電力が子どもたちに贈る人形劇「かんぱとピーノイの米づくり」の公演が1月21日、神崎ふれあいプラザで行われました。物語はラオスに伝わる民話をアレンジしたもので、少年「かんぱ」が叔母さんに苗をもらい、夜にしか姿を現さない精霊「ピーノイ」の力を借りて初めて米作りに挑戦する内容です。

当日はたくさんの園児や児童が会場を訪れ、客席にも飛び出して演じられる劇を熱心に見入っていました。



会場と一体となって繰り広げられる人形劇の公演

▶ 基調講演する大村氏



▶ 大盛況の試食コーナー



食を通して育む生きる力!!

香取地域食育シンポジウム

2月1日、神崎ふれあいプラザで香取農林振興センター主催による香取食育シンポジウムが開催されました。食育コーディネーターの大村直己氏を講師に迎え、「家庭・地域での食育～元気、やる気、根気の“き”を育む」をテーマにした基調講演では、「食べ物で身体を育み、食の空間が子どもの心を育てる。子育ての基本は早寝早起き朝ごはん」と語りました。

第2部では、伝統食や発酵食に取り組む(株)寺田本家の寺田啓佐さん、町給食センター栄養士白鳥やよいさんら2名による活動事例発表等が行われました。

さらに、神崎町保健推進員による試食コーナーや食育活動パネル展示もあり、食べて考えるシンポジウムになりました。